ときわ公園のペリカン飼養状況と国内外の高病原性鳥インフルエンザの状況

2017年4月3日

(期間:2017年3月1日~3月31日)

1 ペリカンの飼養状況

(1) 飼養羽数(3月31日現在)

モモイロペリカン	8羽	
ハイイロペリカン	8羽	
合計	16羽	

(2) 飼養状況

モモイロペリカン1ペア、ハイイロペリカン3ペアが抱卵行動をとっている。

2 ときわ公園の野鳥の数(宇部市常盤動物園協会職員による調査)

	3月31日	前月	前年同月
計測鳥類全体	27種314羽	31種412羽	22種322羽
うち、リスク種鳥類	9種158羽	16種291羽	9種178羽

[※]ときわ公園内、石炭記念館前から菖蒲池間で時間を限定して行った観察により計測された鳥類の数。 ときわ公園全体にいる鳥類の数を示す数値ではない。

3 国内での鳥インフルエンザウイルス検出状況

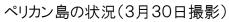
(1) 鳥類等

都道府県	宿主	血清亜型	件数
北海道	野鳥	高病原性(H5N6亜型)	1
岩手県	野鳥	高病原性(H5N6亜型)	2
		高病原性ではない(H6N8亜型)	1
		検査中	1
宮城県	家きん	高病原性(H5N6亜型)	1
千葉県	家きん	高病原性(H5N6亜型)	1
岐阜県	野鳥	高病原性(H5N6亜型)	1

(2) 人

・検出例なし。







常盤湖の野鳥(3月30日撮影)

4 世界での鳥インフルエンザウイルス検出状況

(1) <u>鳥類</u>

国	宿主	血清亜型	件数
カメルーン	家きん	高病原性(H5N1亜型)	2
中国	家きん	高病原性(H5N6亜型)	1
		高病原性(H7N9亜型)	1
台湾	家きん	高病原性(H5N2亜型)	29
		高病原性(H5N8亜型)	5
		低病原性(H5N2亜型)	1
ベルギー	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	2
ボスニア・ヘルツェゴビナ	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
クロアチア	家きん	高病原性(H5N5亜型)	4
チェコ	家きん	高病原性(H5N8亜型)	2
フランス	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	6
	家きん	高病原性(H5N1亜型)	1
		高病原性(H5N8亜型)	42
		低病原性(H5N1亜型)	2
		低病原性(H5N2亜型)	1
ドイツ	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	11
	家きん	高病原性(H5N8亜型)	19
ギリシャ	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
イタリア	家きん	高病原性(H5N8亜型)	3
ルアニア	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	2
マレーシア	家きん	高病原性(H5N1亜型)	10
ネパール	野鳥	高病原性(H5N1亜型)	1
	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
オランダ	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	2
ナイジェリア	家きん	高病原性(H5N1亜型)	9
ポーランド	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
	家きん	高病原性(H5N8亜型)	5
ルーマニア	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	15

	家きん	高病原性(H5N8亜型)	18
ロシア	家きん	高病原性(H5N8亜型)	7
スロバキア	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1」
	家きん	高病原性(H5N8亜型)	1
スロベニア	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	3
イギリス	野鳥	高病原性(H5N8亜型)	1
アメリカ	家きん	高病原性(H7N9亜型)	2
		低病原性(H5N2亜型)	1
		低病原性(H7N9亜型)	4
ベトナム	家きん	高病原性(H5N1亜型)	8

(2))人					
	玉	血清亜型	件数			
	中国	H7N9亜型	106			

※3および4は、4月3日までに環境省、農林水産省、OIE、WHOから公表された情報を集計。